



渡島管内「働き方改革」通信

令和元年度渡島管内「働き方改革」ワーキンググループについて

「学校における働き方改革」は、目指す子どもの姿に向かい、教師という専門職にしかできない教育活動に全力を傾けることができるよう、業務の仕方を再構築することにあります。

7月、道教委では、国の動向を踏まえ、北海道アクション・プランを再び見直しました。各学校では、道教委、市町教委の方針を土台に、地域や各校の目的に向かって、業務の見直しを進めることが求められています。

子どもの成長、教職員の働きやすさ、教職員自身の学びの時間の確保の3つが実現し、相互作用する学校を目指し、本来、私たちが担っているものを見直してみましょう。

渡島教育局内働き方改革ワーキンググループでは、昨年度に引き続き、渡島管内「働き方改革」の取組事例を紹介して参ります。

学校における働き方（1）

スモールステップ、スモールスタート！ 主幹 毛利繁和

道教委「新時代の教育を支える働き方改革促進事業」を進める一人として今年度配属されました。毎号この欄を担当いたします。よろしくお願いいたします。

この事業では道内指定校4校の取組や他校の取組を通して、学校での働き方改革の進め方について、広く全道にお知らせすることを目指しております。渡島管内では、函館市立五稜郭中学校、北海道函館養護学校が指定校となりました。

「働き方改革」は、管理職や一担当が悩んでいても進まないものです。五稜郭中学校では、7月、管理職を含む教職員一人一人が、自分の問題として働き方を見直す目的で、校内でのワークショップを実施しました。自分の問題として捉えると、見える景色が変わります。

スモールステップ、スモールスタート！まずは各学校で協議する場をつくってみませんか。五稜郭中学校の様子については、道教委HP「新時代の教育を支える働き方改革通信 ～ My Revolution ～」にアップしております。御参考になれば幸いです。

☆管内学校の事例☆

学校行事等の見直しについて

- 年度当初の家庭訪問を「家庭確認」に変更し、位置と通学路の確認のみとした。家庭訪問は希望に応じて実施することとした。
- 運動会や学芸会の種目数の削減、実施時間や準備の見直しを行った。PTA 競技は廃止した。

勤務時間を意識する取組

- 退勤時間にチャイムや音楽を流す。
- 職員室の黒板や行事予定表に退勤時間や定時退勤日の表示を掲示する。
- 声掛けを行う場合は、「何時まで」と具体化して呼びかけるようにしている。

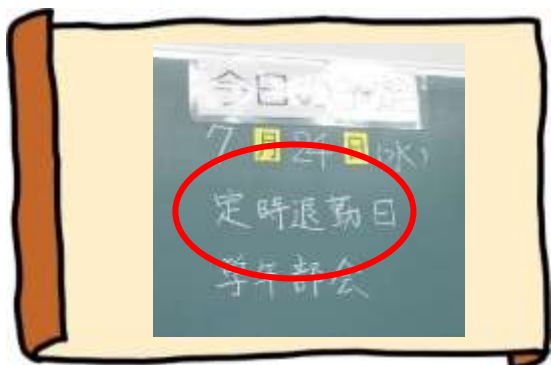
☆周囲の反応☆

〔良い反応〕

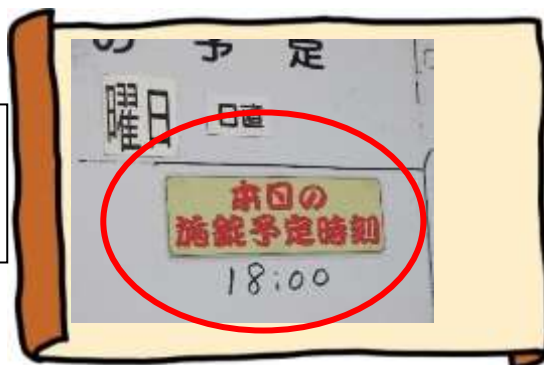
- 勤務時間を意識することにより、教職員の退勤時間が早くなった。
- 学校閉庁日について教職員からは好評であった。
- 年休が取りやすくなった、休みやすくなったという声があった。

〔悪い反応〕

- ▼ 教職員から、「仕事の量や効率は変わらないのに」という不満があった。「また余計な仕事が増えた」という声もあった。
- ▼ 保護者から、運動会の縮小に対して批判的な声があった。



定時退勤日
や退勤時間
の掲示例



学校現場での取組をお聞きしました

今年度も昨年度に引き続き、学校現場での取組や教職員の皆様の取組をお聞きしました。お忙しい中、調整いただいた教育委員会、取材に御協力いただいた各学校に感謝申し上げます。

今回の

取材協力校一覧

〔道立学校〕	函館水産高校 函館養護学校
〔北斗市〕	久根別小学校
〔松前町〕	松城小学校
〔福島町〕	福島小学校
〔知内町〕	知内中学校

〔木古内町〕	木古内中学校
〔鹿部町〕	鹿部小学校
〔森町〕	尾白内小学校
〔八雲町〕	熊石中学校
〔長万部町〕	長万部中学校

御協力ありがとう
ございました

北海道教育庁「渡島教育局『働き方改革』推進のページ」でも紹介しています。

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/oky/hatarakikatatakaikaku.htm>